

令和7年(2025)年度多摩大学経営情報学部 聴講生募集要項

多摩大学経営情報学部(以下「本学部」)は、本学部所定の一または複数の授業科目の聴講を希望する者があるときは、一般の授業に支障のない場合に限り、下記により選考のうえ、聴講生として受入れを許可します。聴講の期間は、聴講を許可された科目が開講される学期を対象とし、1学期につき8単位以内まで聴講できます。

I 出願

1. 募集人員

各科目若干名

※ただし、特定の科目に聴講申請が集中した場合や教室定員の都合により聴講できないことがあります。

2. 出願資格

以下のいずれかに該当し、科目担当教員との面談の結果により、出願を認められた者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 以下①～⑦の高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

●聴講を希望する授業科目に応じた、情報活用能力が求められます。

●外国籍の者については、上記の語学能力に加え、次の条件を満たす必要があります。

- ・短期滞在以外の在留資格を有し、出願できる授業科目が開講される当該学期終了まで在留期間があること
- ・(財)日本国際教育支援協会、及び国際交流基金の「日本語能力試験N2、もしくはN1」に合格していること

●科目担当教員との面談に伴う受付窓口は下記のとおりです。

[受付窓口]

多摩大学多摩キャンパス(経営情報学部) 教務課

電話：042-337-7113、メールアドレス：kyoumu@gr.tama.ac.jp

3. 出願できる授業単位数
8単位以内

4. 出願できる授業科目

下表の記載する科目を対象とします。但し希望する科目の担当教員との面談が別途必要となります。

No.	科目名称	担当教員	単位数	身につけられる内容(抜粋)
1	防災学概論	濱口 和久	2	一般財団法人防災教育推進協会が実施している防災検定準2級以上に合格できる能力を身につける。
2	時事問題研究実践 B(国際連携と分断の 相克)	藤井 健	2	様々なグローバルな時事問題の基礎的知識を獲得するとともに、これら問題に対して自分なりの解決方法を表現できるようにする。
3	TOEIC IV	田中 美穂	2	現在の TOEIC 得点より 100 点アップした実力をつける。
4	ビッグデータ・マーケティング(2023 年 以降入学生対象)	西村 公児	2	エクセル及びテキストマイニングのツールでデータを解析し、実際のビジネスの現場で活用できるスキルを身につける。
5	データサイエンス IV(多変量解析・分類)	久保田 貴文	2	データ解析の考え方と手法を十分に理解し様々な問題に対して実際に解析を行い解決につなげることができる。
6	IT セキュリティ(高度セキュリティ)	中田 亮太郎	2	IT セキュリティに関する知識を活用したインシデント対応力を身につける
7	Web サービス開発	出原 至道	2	クラウド上にデータベースサーバ・ウェブサーバを構築できる。
8	事業構想最新事情	長島 剛	2	事業構想に関わる際のイメージの理解と実践的なネットワークの構築につながる。
9	国際ビジネス論 I	中湊 晃	2	国際ビジネス環境に対する国際ビジネスの具体例を調査・研究し、取り纏め、プレゼンする力を養う。
10	アジア文化論	佐野 あゆみ	2	韓国、日本、アジア諸国の文化交流の現状を把握し、文化産業における課題を発見・分析し、独自の解決策や意見を示すことができるようにする。
11	中国語圏の社会	バートル	2	中国語圏のビジネス環境(経済・業界・企業)を分析し、日本企業の新たな経営戦略・ビジネスモデルの立案、企業間の協力の可能性について自分なりの提案ができるようになる。
12	東南アジア経済論	富山 篤	2	IMF(国際通貨基金)や世界銀行など公的データベースを使って経済を定量的に分析できるようになる。

No.	科目名称	担当教員	単位数	身につけられる内容(抜粋)
13	現代米国論	平石 隆司	2	米国政治について、歴史的、文化的な視点も含め様々な視角から包括的に理解する。また、国際的な政治・経済への関心を深め、日本についてのインプリケーションを考えられるようにする。
14	NPO・NGO 論	松本 祐一	2	NPO の組織原理を経営という視点から深く理解できるようにする。
15	金融論	下井 直毅	2	投資および企業財務に関する重要な金融概念を理解し、実務での応用力を身につける。
16	地域政策プランニング	中庭 光彦	2	地域政策に関わる長文情報を調査できるようになる。
17	スポーツ・マネジメント論	福角 有紘	2	スポーツ(人、モノ、環境)をマネジメントできる能力を身につける。
18	地域スポーツ論	中塚 義実	2	地域社会とスポーツの関係を把握することと、ペアやグループで課題解決に取り組むスキルを向上させることができる。
19	経営思想史	高橋 恭寛	2	現代の様々な経営思想に関わる知識が日本の風土でどのように活かせるのかを自分なりに考えることができる。
20	ベンチャー企業論	小林 英夫	2	ベンチャーと企業家精神とは何かを理解することを通して、自らのキャリアデザインを考えられるようになる。
21	韓国経済論	金 美德	2	韓国と北朝鮮の政治外交・経済ビジネス・文化社会に関する基礎知識を修得する。
22	華僑華人経済論	バートル	2	中国・中華圏・中国辺境経済圏のビジネス環境を分析し、日本企業の新たな経営戦略・ビジネスモデルの立案、企業間の協力の可能性について提案ができる。
23	アジアユーラシア論	結城 隆	2	中国の経済・産業・社会の実像を多面的かつ重層的に理解できるようになる。
24	ソーシャルマーケティング	松本 祐一	2	身近な大学における課題を解決するためのキャンペーンやプログラムを立案することを通して、ソーシャル・マーケティングの理論と方法を理解できる。
25	日本経済論	真壁 昭夫	2	日本経済の理解を深め、それを用いて実際に起きている経済環境の変化などを考える力を身につける。
26	地域観光論	中庭 光彦	2	地域観光に関しての考え方を社会の中で他の事例に応用できる。
27	地域産業論	野坂 美穂	2	官公庁の報告書や新聞記事・雑誌等の活用による分析を行い、情報リテラシーと数量スキルを身につける。

No.	科目名称	担当教員	単位数	身につけられる内容(抜粋)
28	財務管理	落合 孝彦	2	上場企業の財務的な意思決定領域である資金の調達・運用・分配に焦点を当てた基礎知識を修得する。
29	流通論	宮本 純至	2	流通に関する「知識」を幅広く身につけ、企業行動の理解に繋げる。
30	事業戦略	浜田 正幸	2	ビジネスや課題解決のための戦略立案ができる。
31	図化技術概論	出原 至道 新西 誠人	2	ユースケース図・状態遷移図・シーケンス図・アクティビティ図・クラス図について、適切な記述と解釈ができるようになる。
32	経営科学	増田 浩通	2	経営科学の理論と手法を理解し、学んだ内容を実務で活用できる。
33	ビジネス数学 II (解析)	新井 崇弘	2	初等関数の微分積分、多変数関数の微分、関数近似について理解して行えるようになる。
34	先端情報技術概論	菅沼 睦	2	情報通信サービスの基盤となる ICT 技術の知識修得。
35	クリエイティブデザイン II (3DCG)	濱 大貴	2	3DCG ソフトの種類を理解、3DCG ソフトの利用、グループワーク、プレゼンテーションを通じてのプロジェクトの推進ができる。
36	知覚心理学	菅沼 睦	2	映像、画像、プレゼンテーション等の知覚に関わる各種の制作において、学んだ知見を応用できる。
37	データサイエンス II (推定・検定)	新井 崇弘	2	ビジネス環境で必須の統計的思考力と課題解決のための統計分析プロセスを計画実行することができる。
38	データベース II (SQL)	齋藤 S. 裕美	2	データベースの構築を通じてデータベースのしくみや SQL について理解を深め、データベースを活用した問題解決のスキルを身につける。
39	Web プログラミング入門	出原 至道	2	Web API の概念を理解し、自力で自由に使えるようになることで、新しい Web サービス提案ができる。
40	コンピュータ・サイエンス	中村 有一	2	C# を一通り実用的なレベルで使えるようになる。
41	経営情報特講	青木 克彦	2	企業活動を取り巻く環境、現場、そこで働く人たちの志を理解し、企業現場で様々な課題に挑戦する意義、面白さを感じることを通じて、自らのキャリアイメージを形成することができる。

5. 出願方法

郵送または窓口受付となります。出願書類を封筒(角 2)に封入し簡易書留速達にて郵送してください。

6. 出願期間

令和7年7月7日(月)～8月8日(金)

※出願期間内の午前9時～午後5時(教務課) 必着

[出願先]

〒206-0022

東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

多摩大学多摩キャンパス(経営情報学部) 教務課

電話番号：042-337-7113

7. 出願書類

(1) 聴講生入学願書／身上記録 * 本学所定用紙[様式1]

(2) 聴講の目的・理由書

A4(またはリーガルサイズ) 1枚程度、日本語または英語で、1科目につき1枚ずつ、聴講の目的、理由を記入してください(書式自由)。

(3) 写真

縦4cm×横3cm、枠なし、上半身、無帽、無背景、出願3か月以内に撮影したカラー写真を身上記録に貼付してください。証明写真用スピード写真は受け付けますが、家庭のデジタルカメラ等で撮影された写真は受け付けません。

(4) 最終学校の卒業証明書・学業成績証明書

証明書は原本を提出してください。原則として和文か英文とします。他の言語の場合は、その和訳または英訳を添付してください。ただし、その訳文には在日公館等公的機関作成の証明を必要とします。

婚姻等で、証明書の氏名が違う場合は、戸籍抄本(個人事項証明)など氏名変更したことが証明出来る書類を添えてください。

(5) 語学力(日本語以外)を示す書類(授業科目に応じて)

(6) 日本語能力を示す書類(日本語を母語としない者のみ対象)

(7) 検定料(10,000円)支払済を証明する書類

振込先：三菱UFJ銀行表参道支店(店番133) 普通2088791

名義 学校法人田村学園多摩大学

【出願上の注意】

① 一度納入した検定料、及び受理した出願書類は返還しません。

② 出願締切日の間違いがないよう記入してください。

③ 偽造した出願書類の提出または提出した書類に虚偽の記載が含まれていた場合は、合格・入学を取り消します。

II 選考

1. 選考方法

(1) 出願書類の内容を総合的に判断して行います。

(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。この場合、面接の日時は別途通知します。

III 合格発表

1. 選考結果は郵送により、次の日程で合格者に通知し、手続きに必要な書類を同封します。

令和7年8月25日(月)

IV 入学手続き

合格者は以下に示すとおり、手続期間内に聴講生納付金を納入し、手続書類を提出してください。
詳細は「入学手続要項」を確認してください。

1. 入学手続方法
郵送(簡易書留)
2. 入学手続期間
令和7年8月25日(月)～9月1日(月)必着
3. 入学手続先
〒206-0022
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
多摩大学多摩キャンパス(経営情報学部) 教務課
電話 042-337-7113
4. 入学手続に必要な書類
 - (1) 聴講生納付金納入済票
 - (2) 学籍原簿兼誓約書
 - (3) 住民票記載事項証明書 ※外国籍の者は登録原票記載事項証明書
 - (4) 証明写真
5. 聴講生納付金
 - 1単位当たり15,000円
 - (2単位：30,000円、4単位：60,000円、6単位：90,000円、8単位：120,000円)
6. 入学手続に際しての注意事項
 - (1) 入学手続期間後に到着した入学手続に必要な書類は受け付けることができませんので、郵送の場合は到着までに必要な日数を十分考慮して発送してください。
 - (2) 入学手続に必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けることができませんので、提出前に十分点検してください。
 - (3) 受け付けた書類は、理由の如何を問わず返却しません。
 - (4) 入学手続を完了した人に入学許可書を交付します。
 - (5) 入学許可により、聴講の有無にかかわらず、対象となる授業が開講していない場合を除き聴講生納付金の納入義務が発生します。

V その他

1. 図書館の利用
聴講生は、本学部図書館において館外貸出し可能です。
2. 学則の適用等

3. 聴講生の継続

- (1) 選考の結果、合格した場合には聴講生として在籍期間が2年間有効となります。
- (2) 聴講生の継続を、2年経過した後に希望する場合には、改めてお願いいただくことが必要となります。定められた出願期間内に手続きを行ってください。
- (3) 在籍期間中に聴講を希望する場合には、出願期間内に希望する科目の担当教員と別途面談していただきます。
- (4) 「聴講の目的、理由書」の提出と聴講生納付金の納付は聴講を希望する当該学期ごとに必要となります。
- (5) 正規生として入学を希望する場合は、入試課へお問い合わせください。
※上記(1)～(4)の詳細については教務課までお問い合わせください。

4. 聴講生には単位を付与しません。

5. シラバスと時間割は以下のURLから確認することができます。

・シラバス

<https://next.tama.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Pky003>

・時間割表

https://www.tama.ac.jp/faculty/smis/curriculum/smis_timetable.html